

令和6年度の主な施策は次のとおりです

※文字に色がついている事業は、国や県の補助金・交付金を活用したもの

1. 産業の再興と雇用基盤の強化

• 主体的にがんばる事業者販路開拓支援事業	1225万円
• 新規ビジネス創造事業(地域経済循環創造事業補助)	2000万円
• 茨木市との産業振興連携事業	241万円
• スーパーマーケットトレードショー出展事業	327万円
• 第10回全国醤油サミット開催事業	200万円
• 小豆島サステナブル・ガストロノミー推進事業	1820万円
• 有害鳥獣対策事業	5521万円
• 新規就農者育成総合対策事業	1155万円
• オリーブトップワンプロジェクト推進事業	806万円
• 水産物処理加工施設設置補助事業	1589万円
• 瀬戸内国際芸術祭推進事業	1948万円
• 小豆島ふるさと村基盤整備検討調査事業	4785万円

2. 公共交通の確保と港の再整備

• オリーブバス車両購入補助事業	2700万円
• 町営バス運行事業	1992万円
• 草壁港浮棧橋長寿命化事業	3430万円
• 芦浦岸壁防食対策事業	6030万円
• 安田バス停整備事業	180万円
• 高齢者免許返納等バス利用促進事業	450万円
• フェリー内での情報発信設備整備事業	108万円

3. 教育施設の再編による教育・子育て環境の充実

• 内海地区学校再編整備事業	2億5424万円
• 小・中学校の給食費無償化事業	3831万円
• こども医療費支給事業	1430万円
• 出産・子育て応援給付事業	1446万円
• STEAM(スチーム)教育推進事業	856万円
• 英語教育推進事業	848万円
• 奨学資金貸付事業	7440万円

4. 集落活性と空き家活用

• 池田地区更新住宅等整備事業	5億8240万円
• 老朽危険空き家等除却支援事業	5040万円
• 空き家資源活用事業	1268万円
• 若者住宅取得支援事業	2200万円

5. 安全・安心施策の推進

• 防災行政無線整備事業	5億2781万円
• 小豆島中央病院運営支援事業	2億8773万円
• 中間処理施設整備事業(広域事業)	1億3735万円
• 内海地区雨水公共下水道整備事業	1億2710万円
• 道路橋梁維持管理・改良事業	2億9130万円
• 民間住宅耐震診断・耐震改修助成事業	337万円
• 一般住宅リフォーム助成事業	1200万円

「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指して
令和6年度 まちの当初予算は
112億8700万円になりました

今年度の当初予算は、前年度に比べて、8億2600万円(6.8%)減の112億8700万円となっています。

今月号では、「次代に夢をつなぐ、持続可能なまちづくり」を目指す施策として5つの柱を中心に予算を紹介します。先月号の令和6年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけれると思います。

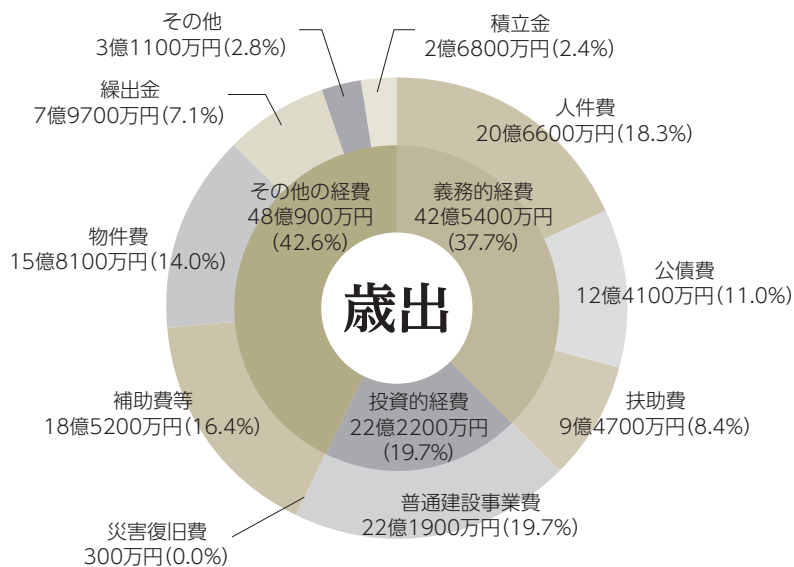
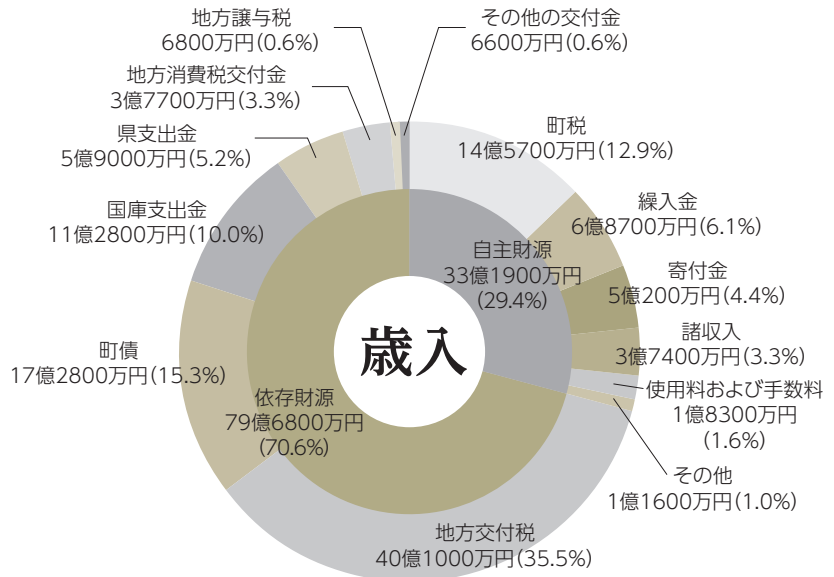
歳入と歳出の内訳は次のとおりです



－歳入を見てみましょう－

歳入の中で1番大きな額となっている「地方交付税」は、どの地域にいても一定の行政サービスが受けられるよう、各自治体の財政状況に応じて国から配分されるものです。

配分額は、各種データに基づき算定されますが、皆さんに5年に1度回答いただいている国勢調査の結果（人口、世帯数等）も算定材料のひとつです。次の国勢調査は令和7年度に行われますので、その際にご協力をお願いします。



－歳出を見てみましょう－

右のページの「内海地区学校再編整備事業（約2億5000万円）」は歳出グラフの「普通建設事業費」に含まれます。

令和5年度、町総合教育会議において、「内海地区3小学校を統合し、旧小豆島高校跡地に新しい小学校を建てる」ことが決定しました。この事業は、新しい小学校の令和9年4月開校を目指して、新小学校を建設する土地の調査や購入、そして設計をするための予算となっています。

※ 100万円未満は四捨五入しているため、合計が合わない部分があります。

私たち1人あたりに使われる金額はいくら？



私たち一人あたりに使われる金額は88万284円で、そのうち町が賄える金額は25万8852円です。

※まちの人口1万2822人（4月1日現在）と自主財源の数値から算出しています。

問い合わせ先 企画財政課 ☎ 82-7000